

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2 units (compulsory) 1st-year(2nd semester)

Masayuki Satake · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES, Shogo Hirai · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。また、自ら選んだテーマに沿って情報を検索・収集し、他人に伝えられる客観的な知識を構築して、分かりやすく発表するという体験をしてもらう。これによって、大学で学ぶ上でのいわゆる知の技法の基礎を身につけてもらう。

Outline) 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、ゼミナール形式で行う。扱う課題を設定してから課題検討グループを4組作る。課題は健康スポーツ科学に関するもの、健康・スポーツ関連職業に関するものを設定する。まとめたものについてはプレゼンテーション及び討論を行う。

Keyword) キャリアプラン, *health, sports, presentation*

Fundamental Lecture) “基礎ゼミナールⅠ”(1.0)

Relational Lecture) “健康と福祉”(0.5)

Goal)

1. 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。
2. 調査手法を理解する。
3. プレゼンテーション能力を養成する
4. 考えの相違を尊重する態度を身につける。
5. 本講義では課題解決・探求型学習を導入します。

Schedule)

1. キャリアプラン体験講座(1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座(2. 事例紹介)
3. 適性把握演習(性格・言語)
4. 適性把握演習(計数・総合)

5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える
6. 各業種・職種のコンピテンシー
7. Web版ポートフォリオの設定
8. 検討グループの組織、課題設定についての検討
9. 各グループでの検討(1)
10. 各グループでの検討(2)
11. 検討結果の整理
12. プレゼンテーション及び討論(1)
13. プレゼンテーション及び討論(2)
14. 討論結果を踏まえ、再検討
15. 最終プレゼンテーション
16. 全体のまとめ

Evaluation Criteria) 前半7回は、出席や(レポートの提出状況など)受講態度による。また、Web版キャリア学習ポートフォリオへの報告内容についても成績評価の対象となる。後半部分は授業の中での取り組み状況と最終報告レポートで総合評価を行う。

Re-evaluation) なし

Textbook) なし

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218519>

Contact)

⇒ Satake (2M15, +81-88-656-7212, satake@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 月曜日:16時30分～17時30分)

⇒ Hirai (2116, +81-88-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL